

令和6年度龍ヶ崎市地域公共交通協議会 (第6回・書面協議)

～ 次 第 ～

1 議 題

協議事項 関東鉄道竜ヶ崎線生活交通改善事業計画の変更について

【内容】

関東鉄道竜ヶ崎線の安全設備の整備については、国・県・市が費用の一部に対し補助金を交付し、それを受けて運行事業者である関東鉄道株式会社が実施している。整備については、関東鉄道竜ヶ崎線生活交通改善事業計画に基づき実施しており、計画の内容に変更が生じる場合には、都度協議を行うこととしている。

この度、関東鉄道株式会社から、国からの補助金の内示（2024年度補正予算）を受けて、2025年度以降の実施事業について、以下のとおり変更を行いたいとの申し出があった。

については、関東鉄道竜ヶ崎線生活交通改善事業計画の変更の可否について書面協議をお願いしたい。

【資料】

別紙1 : 2025年度(国2024年度補正分)関東鉄道竜ヶ崎線生活交通改善事業計画
(鉄道軌道安全輸送設備等整備事業)

参考資料1 : 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画（竜ヶ崎線） 変更前

参考資料2 : 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画（竜ヶ崎線） 変更内容まとめ

参考資料3 : 変更理由書（事業の追加・変更）

**2025年度（国2024年度補正分）
関東鉄道竜ヶ崎線生活交通改善事業計画
（鉄道軌道安全輸送設備等整備事業）**

1. 事業の目的・必要性

竜ヶ崎線は、沿線人口の減少、少子高齢化、マイカーの普及等により1995年をピークとして利用者の減少傾向が続いていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2020年度以降はさらに大幅に利用者が減少した。新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も、利用者回復の兆しが見えず、現在も厳しい収支状況となっている。そのような中で施設全体の老朽化が進んでおり、安全設備の機能維持が困難な状況となっている。

特に、軌道・信号設備および車両は、安全輸送に直結する根幹的な設備であり、高い安全性が求められている。

また、竜ヶ崎線には19カ所の踏切道が存在しており、踏切設備の安全対策も安定輸送には必須となっている。

このため、軌道を強化するとともに老朽化車両の機能維持と更新および踏切設備の更新により安全度の向上を行い、輸送の安全確保を図るものとする。

2. 事業の定量的な目標及び効果

竜ヶ崎線の収支においては、従来から経常赤字が続いていた中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により大幅な利用者の減少・減収となり、2023年度には約4千6百万円の経常赤字を生じている。2024年度以降も利用者回復の兆しが見えず、厳しい収支状況が続くことが見込まれることから、鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助制度等を活用し、老朽化した鉄道施設の改修・更新を行うことにより約72万人（年間利用者）の輸送の安全を向上させる。

具体的目標としては、計画の5年間において老朽化により機能維持が困難となっている踏切設備・線路設備の老朽更新を行うほか、災害対策として信号・踏切保安設備の雷害対策、気象・地震計装置の更新を行う。また、車両の全般・重要部検査に併せ、老朽化した車両部品の交換を実施する。これらの設備整備により安全度の向上を図るとともに、機能維持のための修繕費を圧縮し収支良化を図るものとする。

3. 事業の内容と当該事業を実施する事業者

別紙に記載

4. 事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

2025年度事業費	5,000千円（国2024年度補正分）
負担額	国：1,666千円（負担割合33.3% 2024年度補正対応）
	茨城県：833千円（負担割合16.7% 2025年度予算対応予定）
	龍ヶ崎市：833千円（負担割合16.7% 2025年度予算対応予定）
	関東鉄道：1,668千円（負担割合33.3% 2024年度予算対応予定）

5. 計画期間

別紙に記載

6. 協議会の開催状況と主な議論

2025年2月 日 事業内容、費用負担、5か年計画について協議し承認済み。

（協議会の構成）

関係県・市	茨城県、龍ヶ崎市
関係交通事業者・施設管理者等	関東鉄道(株)
国	関東運輸局茨城運輸支局
関係機関	流通経済大学、茨城県竜ヶ崎工事事務所、竜ヶ崎警察署、茨城県バス協会、関東鉄道労働組合、平成観光自動車(株)、有限会社佐貫タクシー、布川交通(株)、東日本旅客鉄道(株)水戸支社、龍ヶ崎市商工会、NPO法人ユーアンドアイ
市民代表	3名

龍ヶ崎市地域公共交通協議会

2025年2月 日

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画（竜ヶ崎線）

事業実施事業者名：関東鉄道㈱

2025/2/1

計画期間 5年

【単位：千円】

設備・保存費の区分	整備の概要	2025年度 (令和7年度)										備考		
		2024年度 補正繰越分 (国 令和6年度 補正)		2025年度 (国 令和7年度 当初)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)			2029年度 (令和11年度)	
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所		事業費	整備対象箇所
信号保安設備 (踏切保安設備)	踏切警報機の更新	5,000	1踏切	0		0		0		0		0		
〃	信号機器・踏切保安設備の 雷害対策	0		0		0		1,400	竜ヶ崎駅 機器室1箇所	1,200	竜ヶ崎～入地 信号2箇所	0		
保安通信設備 (通信線)	通信ケーブルの更新	0		0		0		0		17,000	竜ヶ崎～入地 (2.3k)	17,000	竜ヶ崎～入地 (2.3k)	
線路設備 (枕木・曲線)	老朽PC枕木の同種更新	0		0		0		0		0		0		
線路設備 (レール)	レールの更新(同種更新)	0		0		20,000	馴馬県道	0		0		0		
防護設備	気象観測装置の更新 (風速計・雨量計)	0		1,300	竜ヶ崎～佐貫	0		0		0		0		
〃	地震計の更新	0		0		0		3,750	竜ヶ崎駅	0		0		
車両設備	空気バネ交換	0		0		0		4,650	キハ2002号	4,650	キハ2001号	0		
〃	ワンマン制御コンピュータ代替	0		0		0		0		0		8,000	キハ2001・2002号	
車両保存費	全般検査	0		0		0		6,000	キハ2002号	6,000	キハ2001号	0		
〃	重要部検査	0		0		0		0		0		6,000	キハ532号	
		5,000		1,300		20,000		15,800		28,850		31,000		

3. 必要に応じて、対象設備の図面、写真等を添付すること。

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画（竜ヶ崎線）変更前

事業実施事業者名：関東鉄道㈱

計画期間 5年

2024/5/13

(単位：千円)

設備・保存費の区分	整備の概要	2024年度 (令和6年度)		2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		備考
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	
信号保安設備 (踏切保安設備)	踏切遮断機の更新	0		0		0		0		0		
〃	踏切警報機の更新	0		5,000	1踏切	0		0		0		
保安通信設備 (通信線)	通信ケーブルの更新	0		0		0		0		17,000	竜ヶ崎～入地 (2.3k)	
線路設備 (枕木・曲線)	老朽PC枕木の同種更新	0		0		25,000	竜ヶ崎～入地	0		0		
線路設備 (軌道道床)	道床碎石の交換	0		0		0		0		0		
線路設備 (レール)	レールの更新(同種更新)	0		0		0		20,000	馴馬県道	0		
車両設備	変速機制御装置の更新	0		0		0		0		0		
〃	ドライブレコーダーの新設	※ 1,500	キハ532・2001・ 2002号 3両	0		0		0		0		※国補助のみ申請予定 (DX・GX補助)
〃	空気バネ交換	0		0		0		4,650	キハ2002号	4,650	キハ2001号	
〃	ワンマン制御コンピュータ代替	0		0		0		0		0		
車両保存費	全般検査	0		0		0		6,000	キハ2002号	6,000	キハ2001号	
〃	重要部検査	3,000	キハ2001号	0		0		0		0		
		4,500		5,000		25,000		30,650		27,650		

3. 必要に応じて、対象設備の図面、写真等を添付すること。

鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画（竜ヶ崎線）変更内容まとめ

事業実施事業者名：関東鉄道㈱

2025/2/1

計画期間 5年

【単位：千円】

設備・保存費の区分	整備の概要	2025年度 (令和7年度)				2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)		備考
		2024年度 補正繰越分 (国 令和6年度 補正)		2025年度 (国 令和7年度 当初)		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所	
		事業費	整備対象箇所	事業費	整備対象箇所									
信号保安設備 (踏切保安設備)	踏切警報機の更新	5,000	1踏切	0		0		0		0		0		
〃	信号機器・踏切保安設備の 雷害対策	0		0		0		1,400	竜ヶ崎駅 機器室1箇所 新規追加	1,200	竜ヶ崎～入地 信号2箇所 新規追加	0		
保安通信設備 (通信線)	通信ケーブルの更新	0		0		0		0		17,000	竜ヶ崎～入地 (2.3k)	17,000	竜ヶ崎～入地 (2.3k)	
線路設備 (枕木・曲線)	老朽PC枕木の同種更新	0		0		0		0		0		0		
線路設備 (レール)	レールの更新(同種更新)	0		0		20,000	馴馬県道 R9より前倒し	0		0		0		
防護設備	気象観測装置の更新 (風速計・雨量計)	0		1,300	竜ヶ崎～佐貫 新規追加	0		0		0		0		
〃	地震計の更新	0		0		0		3,750	竜ヶ崎駅 新規追加	0		0		
車両設備	空気バネ交換	0		0		0		4,650	キハ2002号	4,650	キハ2001号	0		
〃	ワンマン制御コンピュータ代替	0		0		0		0		0		8,000	キハ2001・2002号	
車両保存費	全般検査	0		0		0		6,000	キハ2002号	6,000	キハ2001号	0		
〃	重要部検査	0		0		0		0		0		6,000	キハ532号	
		5,000		1,300		20,000		15,800		28,850		31,000		

3. 必要に応じて、対象設備の図面、写真等を添付すること。

変更理由書（事業の追加・変更）

<事業の追加>

対象事業： 踏切保安設備（信号機器・踏切保安設備の雷害対策）
 事業費： 令和9年度 0円 → （追加後） 1,400,000円
 令和10年度 0円 → （追加後） 1,200,000円
 理由： ・新規追加
 昨今の異常気象による災害のなか雷害による施設被害が増えていることから、信号・踏切保安設備の雷害対策を行い輸送の安全性向上を図るもの。

<事業の変更>

対象事業： マクラギ（老朽PCマクラギ）【同種更新】
 事業費： 令和8年度 25,000,000円 → （変更後） 0円
 理由： ・事業取止め
 当初、竜ヶ崎～入地駅間においてPC枕木の締結不良箇所が連続して発生しており交換を予定していたが、日々の点検補修で連続的な不良を解消することで延命が可能となったことから計画を取り止めるもの。

<事業の変更>

対象事業： レールの更新【同種更新】
 事業費： 令和8年度 0円 → （変更後） 20,000,000円
 令和9年度 20,000,000円 → （変更後） 0円
 理由： ・令和9年度から前倒し
 当初、令和9年度の整備を予定していたが、日々の点検で想定より劣化が進んでいることを確認したことから、令和8年度に前倒しして整備するもの。

<事業の追加>

対象事業： 気象観測装置の更新
 事業費： 令和7年度 0円 → （追加後） 1,300,000円
 理由： ・新規追加
 台風や大雨時に雨量や風速を測定し、列車の運転規制など安全な運行管理を行うための気象観測装置（雨量計・風速計）が経年により劣化していることから、更新を行い、輸送の安全性向上を図るもの。

<事業の追加>

対象事業： 地震計の更新
 事業費： 令和9年度 0円 → （追加後） 3,750,000円
 理由： ・新規追加
 地震発生時の震度を測定し、列車の運転規制など安全な運行管理を行うための地震計が経年により劣化していることから、更新を行い、輸送の安全性向上を図るもの。